

月・旬	10			11			12			1			2			3			4			5			6	
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上			
生育	出芽期						有効分けつ期						無効分けつ期			莖立期			出穂期			登熟期			収穫期	
主な作業等	● 排水対策 ● 土壌改良材の散布 ● 種子消毒 ● 播種前の除草剤						○ 麦踏み ○ 麦入れ ● 追肥①						○ 麦踏み ○ 畦溝さらえ・排水口の整備			● 追肥② ○ 土入れ			○ 土入れ ○ 追肥②			● 赤かび病防除① ● 赤かび病防除②			● 収穫（はるか二条） ● 収穫（小麦）	
	← 播種時期 →						● 中期除草剤						○ 畦溝さらえ・排水口の整備			○ 土入れ			○ 土入れ ○ 追肥②			● 赤かび病防除① ● 赤かび病防除②			● 収穫（はるか二条） ● 収穫（小麦）	
<p>高品質麦生産のため、適期播種を心掛けましょう！</p> <p>麦踏み・土入れは土壌が乾いているときに実施</p> <p>穂揃い期追肥は必ず実施</p> <p>※前回多発した場合は必ず防除</p> <p>※早刈りはしないこと 水分25〜20%の間に収穫しましょう</p>																										
排水対策を徹底しましょう！！ 稲刈り後は、速やかに周囲溝を作る、弾丸暗きょを引く						サブソイラ						カラス/エントウ			ネズミムギ			カラスムギ			コムギ黄斑病			赤かび病の穂(左:大麦, 右:小麦)		

赤かび病防除（2回）を行っていない麦は、共乾施設等での荷受けはできません。

栽培のポイント
排水対策・適期播種・酸度矯正・適正施肥・赤かび病防除（必ず2回）・適期収穫

1. 土壌改良資材（適正pH 6.0~6.5）

◆資材の銘柄と、土壌pHを1あげるのに必要な資材量（10a当たり）

資材名	施用量	備考
生石灰	100kg	アルカリ分90%でpHが上がりやすい。播種の10日前までに施用し、土とよく混和。
細粒苦土石灰	160kg	アルカリ分55%で、苦土を含む。
ミネラルG	200kg	アルカリ分40%で、ケイ酸や鉄分を含む。

2. 播種量および播種時期（10a当たり）

品種名	播種適期	播種量	備考
はるか二条	11月15~25日	7~8kg	遅播の場合、播種量を2kg/10a程度増やす。
チクゴイズミ ミナミノカオリ ちくしW2号	11月20~30日	6~7kg	

3. 種子消毒

対象病害虫	薬剤名	処理方法
斑葉病・網斑病 なまぐさ黒穂病 裸黒穂病	トリフミン水和剤	種子1kgに対し、薬剤5gを粉衣。
鳥害防止 斑葉病・網斑病(大麦) なまぐさ黒穂病(小麦) ヤギシロトビムシ(小麦)	キヒゲンR-2フロアブル	種子1kgに対し、薬剤20mlを塗抹処理。

※ヤギシロトビムシ対策(小麦)：

クーラーFS30を種子1kgに対して薬剤6mlを塗抹処理し、10分間乾燥後、トリフミン水和剤を処理。

4. 施肥基準（10a当たり）

品種名	基肥	追肥① 1月中・下旬	追肥② 2月下旬~3月上旬	穂揃い期追肥 4月中旬
はるか二条	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg	硫安 10kg	
チクゴイズミ	ベスト化成444 40kg	ベスト化成444 30kg	硫安 10kg	硫安 10kg
ミナミノカオリ ちくしW2号	ベスト化成444 40kg	麦追肥名人 40kg		硫安 25kg 又は 尿素 10kg

※1 大豆後の基肥は30kg/10a。

※2 ミナミノカオリやちくしW2号は、タンパク質含有率を高めるため必ず穂揃い期追肥を行う。

※3 穂揃い期追肥を葉面散布で行う場合、赤かび病防除と同時に行う。1回目は10a当たり尿素5kgを水100ℓに溶かして散布する。2回目も同様に行う。

5. 雑草防除基準

○播種前処理

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量
ラウンドアップ マックスロード	耕起・播種前又は 播種後出芽前 (雑草茎葉処理)	200~ 500ml	50~ 100ℓ

《注意事項》
除草剤散布の際は、周囲の作物に飛散しないようにしましょう！

○播種後、生育中処理

薬剤名	処理時期	使用量	希釈水量	備考
リベレーターG	播種後~麦2葉期	4~5kg	—	雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで
リベレーター フロアブル	播種後~麦3葉期	60~80ml ※大麦は70mlまで	100ℓ	雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで
ハーモニーDF (イネ科・広葉)	麦1葉期~節間伸長前	5~10g	100ℓ	イネ科・広葉雑草に効果がある
バサグラン液剤	大麦: 収穫90日前まで 小麦: 収穫45日前まで	100~ 200ml	100ℓ	広葉雑草のみ効果 トゲミクシネ/ホトシに 効果が高い
トレファノサイド 粒剤2.5	生育期 (雑草発生前) ただし、収穫45日前まで	4~5kg	—	カラスムギ、ネズミ ムギが前年多発した ほ場では、2回 散布すると効果が 高い
トレファノサイド 乳剤		200~ 300ml	100ℓ	

※1 リベレーターフロアブルは、使用量が多いと大麦では薬害が発生する恐れがあるため注意する。

※2 ハーモニーDFは、野菜や豆類等に薬害を生じるので、ドリフトがないように注意。使用後のタンク及び散布器具は、添付の石灰溶かした液を10分間循環させた後、20分間放置し、排水後清水で洗浄する。

6. コムギ黄斑病・オオムギ網斑病防除

●防除適期: 3月中下旬(特に、昨年多発した場合は必ず防除) (10a当たり)

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
チルト乳剤25	コムギ黄斑病 オオムギ網斑病	1,000倍	60~150ℓ	小麦: 収穫3日前まで 大麦: 収穫21日前まで

7. 赤かび病防除


かび毒発生防止のため、必ず2回防除を行ってください。 (10a当たり)

薬剤名	適用病害名	使用量	希釈水量	備考
ミラビスフロアブル	赤かび病	2,000倍	60~150ℓ	大麦: 収穫14日前まで 小麦: 収穫7日前まで 使用は2回以内
ワークアップフロアブル	赤かび病 うどんこ病 黄斑病、網斑病			3kg
ワークアップ粉剤DL	赤かび病 うどんこ病 網斑病			

※赤かび病防除適期

— 小麦 —

1回目: 開花始め~開花期
(出穂7~10日後頃)

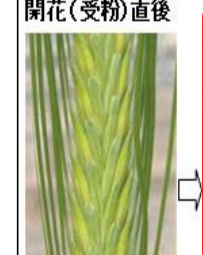


2回目:
1回目の7~10日後

— 大麦 —

1回目: 葯殻抽出期(出穂12~14日後頃)

開花(受粉)直後



葯殻抽出完了

2回目: 1回目の7~10日後